



21.9.19 聖日-RT

RT - 요르단 운동 요시 3:1-13

序 - 水準、基準、標準 (記念碑) <u>次世代</u>	本	結
1. エジプト超える	1. 요시 3:1-6 「契約」 ただ (残りの者の祈り)	3. 3:17 「現場の流れ」 再創造 (征服者の祈り)
2. 荒野超える	計画、方向、感謝	暗やみ縛る
3. 征服の力	1) 創 3:15, 6:14 出 3:18 2) イザ 7:14 3) 마타 16:16 使 1:1, 3, 8	1. 時代の作品 2. 7旅程作品 3. OUR S
	2. 요시 3:7 「祈りの流れ」 唯一性 (巡礼者の祈り) 超越、無限、空前絶後	
	1) 一つの祈り 2) 一つの幸せ 3) 一つの力	1) 契約の箱 2) 祭司の足 3) すべての民

ヨシュア 3:1-13

- 01 ヨシュアは翌朝早く、イスラエル人全部といっしょに、シティムを出発してヨルダン川の川岸まで行き、それを渡る前に、そこに泊まった。
- 02 三日たってから、つかさたちは宿営の中を巡り、
- 03 民に命じて言った。「あなたがたは、あなたがたの神、主の契約の箱を見、レビ人の祭司たちが、それをかついでいるのを見たなら、あなたがたのいる所を発って、そのうしろを進まなければならない。
- 04 あなたがたと箱との間には、約二千キュビトの距離をおかなければならない。それに近づいてはならない。それは、あなたがたの行くべき道を知るためである。あなたがたは、今までこの道を通ったことがないからだ。」
- 05 ヨシュアは民に言った。「あなたがたの身をきよめなさい。あす、主が、あなたがたのうちで不思議を行なわれるから。」
- 06 ヨシュアは祭司たちに命じて言った。「契約の箱をかつぎ、民の先頭に立って渡りなさい。」そこで、彼らは契約の箱をかつぎ、民の先頭に立って行った。
- 07 主はヨシュアに仰せられた。「きょうから、わたしはイスラエル全体の見ている前で、あなたを大いなる者としよう。それは、わたしがモーセとともにいたように、あなたとともにいることを、彼らを知るためである。
- 08 あなたは契約の箱をかつぐ祭司たちに命じてこう言え。『ヨルダン川の水ぎわに来たとき、あなたがたはヨルダン川の中に立たなければならない。』
- 09 ヨシュアはイスラエル人に言った。「ここに近づき、あなたがたの神、主のことばを聞きなさい。」
- 10 ヨシュアは言った。「生ける神があなたがたのうちにおられ、あなたがたの前から、カナン人、ヘテ人、ヒビ人、ペリジ人、ギルガシ人、エモリ人、エブス人を、必ず追い払われることを、次のことで知らなければならない。
- 11 見よ。全地の主の契約の箱が、あなたがたの先頭に立って、ヨルダン川を渡ろうとしている。
- 12 今、部族ごとにひとりずつ、イスラエルの部族の中から十二人を選び出さなさい。
- 13 全地の主である主の箱をかつぐ祭司たちの足の裏が、ヨルダン川の水の中にとどまると、ヨルダン川の水は、上から流れ下って来る水がせきとめられ、せきをなして立つようになる。」

要約

なぜヨルダン運動と言ったのか。今、私たちが昔のヨルダンを渡る必要がないためだ。

□序論_水準、基準、標準が重要だ。(次世代のために記念碑をたててあげるため)

△Remnant は大人たちを尊重しなければならないが、そこ留まらずに受け入れて、はやく越えて行かなければならない。大人たちは私たちの水準で Remnant を見つめてはいけない。多民族は自分の国の基準、水準、標準を高めて世界福音化しなければならないと考えるべきだ。

1. エジプトを超える力を Remnant は蓄えるべき。次世代のために。みなさんのために
2. Remnant は荒野を超えることができる力がある。
3. 征服の力を養う重要な意味を置いていることがヨルダンだ。

□本論_どのようにできるのか

1. ヨシ 3:1-6 Remnant は「契約」について行きなさい

△ただを悟ってついて行きなさい。ただを握るときに出てくるのが(残りの者の祈り) →神様の計画を見てついて行って、神様と方向を合わせてついて行って、感謝してついて行くようになる

- 1) 創 3:15 女の子孫、創 6:14 箱舟、出 3:18 羊の血
- 2) イザ 7:14 インマヌエルの祝福
- 3) マタ 16:16、使 1:1, 3, 8

これについて行けば、学業でも何をしても、ただが見える

2. ヨシ 3:7 「祈りの流れ」について行きなさい

△唯一性の答えがくる。(巡礼者の祈り)が始まる → 3 超越、無限、3 空前絶後の答えがくる

- 1) 一つ祈り、すなわち WITH、Immanuel、Oneness の祈りを 24 しなさい
- 2) 一つで幸せ
- 3) この一つで力を持つようになる

△見えること、考えること、聞こえること、話すこと、息をすること、みな祈りにつなげなさい。

△吸い込むとき聖霊の満ちし、吐くとき神様が働かれるように祈り(巡礼者の祈り)

3. ヨシ 3:17 みことばが「現場の流れ」に乗るように

△再創造。神様のみことばが現場に成就(征服者の祈り) →暗やみが縛られる答えがくる

- 1) 契約の箱をかついだ
- 2) 祭司の足が
- 3) すべての民がみな渡っていく時まで留まるようにしなさい

□結論

△出 17:14 この書にあることはすべて記念、記録、覚えるようにしなさい。

出 33:11 ヨシュアは会見の天幕を離れないのだ。

民 17:30 ヨシュアとカレブだけがカナンに入る

1. 時代の作品を準備しなさい
2. 7 大旅程の作品を準備しなさい
3. OURS を作りなさい

△Remnant は未信者のようにどのようにしなければならぬかと質問する必要はない。残りの者の祈り、巡礼者の祈り、征服者の祈りを 24 しなさい。すると必ず答えがくる。

全文打ち出し翻訳

みなさんは Remnant です。なぜヨルダン運動と言ったのでしょうか。昔にそのヨルダンを私たちが渡る必要はないので、そうです。今、みなさんがメッセージを正しく、もう握らなければならないでしょう。

□序論_水準、基準、標準(記念碑) 一次世代

みなさんの、いまは水準と基準と標準がとても重要です。私たちの Remnant たちは、大人たちがいたので、みなさんがいますね。ありがたいと考えて、はやく受け入れながら、越えなければなりません。受け入れなければ、まるでみなさんが拒否しているように見られるため、そのような必要はありません。正しいことを言われるので、受け入れて、止まってはけません。乗り越えなければなりません。私は、私たちを教える大人たちみな、親は尊重しますが、その水

準、基準、標準に留まっていはいけません。そうでしょう。祈りをたくさんした私たちの親を、母を尊重して尊敬するけれど、しかし、その方の言う水準、基準の中にはいけないということです。

また、私たちの今、大人たちは、メッセージを聞いている大人たちは、Remnant を見るとき、しきりに私たちの水準で見ようとしてはいけません。子どもたちを見て、ゲームするなど言うのですが、ゲームをどのようにするかが重要なことであって、しないわけにはいかないでしょう。この子がどのようにして発展して、それをして益を見るのか、これを教えるべきで「してはならない」このようにすれば、それは時代に遅れるでしょう。

そして、もうその大人たち私たちがしたその水準をもって、しきりに Remnant を見てはいけません。そこで、ある方々は「柳先生が Remnant をとても尊く見るから、Remnant がちょっと何か、このように何か、ちょっと大人たちを無視する」こうした話もしています。それは違いますね。さらに「柳先生が話は Remnant とても、そうするから Remnant がちょっと何か傲慢だ」こういう話も言います。それは大人たちが間違っただけです。なぜならば、私たちの基準で、私たちの水準、標準で、未来を Remnant を見たので、そう言うのです。ここで、大人たちはみなさんの水準で、これからみなさんの子どもを育ててはいけません。なぜでしょうか。神様がものすごい祝福を備えておられる Remnant だからです。

ここにまた、私たちの今、多民族もいます。この方も、みなさんひとりだけであっても、みなさんの国の「水準、基準、標準を、私が高めて世界福音化すべきだ」と考えなければなりません。すぐにはできなくても、祈りの課題は正しくしなければなりません。そうでしょう。「私たちが私たちのまわりにある国を生かす主役になる」と考えなければなりません。

1. エジプトを超える

何を話すのでしょうか。ヨルダンを分ける理由は、次世代のためだと明確に話されました。後ほど記念碑を立てたのではないですか。そうでしょう。エジプトに勝つ力を Remnant は蓄えるべきです。ヨルダンを渡った後に、この記念碑を立てましたね。その話は、次世代のためにです。みなさんのために。みなさんがヨルダン運動の精神が何かというと、エジプトを見てエジプトから出たのではないのでしょうか。「エジプトに勝つことができる」これです。「エジプトを超えることができる」ということでしょうか。超えて出てきたのではないですか。

2. 荒野を超える

ヨルダンを渡る前に、過ぎた日には紅海を渡りました。そうですが、それを見ることができなかった次世代が多いのです。それゆえ、ヨルダンを今、渡るのです。みなさんは荒野を超える力を持っています。

3. 征服の力

ヨルダンを分けて行けば、理由が一つあります。即、エリコに入るところです。征服の力を養う、こういう重要な意味を置いています。これがヨルダンです。それゆえ、みなさんが Remnant が、何か昔にヨルダンが分かれたことを私たちが今、分ける、それは何の意味もないでしょう。これに対する契約をみなさんが悟っていなければならないでしょう。

口本論

どのようにこれができるのでしょうか。

1. ヨシ 3:1-6 「契約」

最初に、ヨシヤ、今日読んだ3章1節から6節です。「契約の箱について行きなさい」そう言われたでしょう。簡単に話せば、なんですか。Remnant は契約に従って行きなさい。みなさんは契約に従って行けば良いのです。どのようにでしょうか。

ただ

ただを悟ってついて行きなさい。すると答えを受けます。

一番の心配が、ソウルのような所に行ってみれば、人々がとても暴れます。商売もそうで。内容は何も無いのに。習ったのが、なぜか、やたら暴れるようにしておいて、このように勝つことができると、このように習いました。ある程度はできます。そのようにすれば。少しなにか、少しこのようにちょっと、食事ができることは、少しそれでも有利になります。しかし、Remnant はそのようになってはいけません。みなさんは、ただでなければなりません。そうでしょう。

残りの者の祈り

これを(ただ)握れば、何が出てくると思いますか。今日メッセージで出て来ました。よく記憶しなければなりません。みなさんは、これ(残りの者の祈り)をすべき人だということです。残りの者です。この祈りをささげなければなりません。

計画、方向、感謝

残りの者は、必ず神様の計画を見てついて行くのです。神様と方向を合わせてついて行くのです。感謝してついて行くのです。この契約について行きなさい。ここで、とても大きな祝福が出てきます。これが残りの者の祈りです。

1) 創 3:15 / 創 6:14 / 出 3:18

何について行くのでしょうか。女の子孫が蛇の頭を踏み砕くと言われました。箱舟の中に入れて生かされます。羊の血を塗る日、抜け出しました。この契約について行きなさい、その話です。

2) イザ 7:14

そして、それから続きますね。悟れないで、また、捕虜なったとき「処女がみごもって男の子を産む。その名をインマヌエルと名づける」

3) マタ 16:16 / 使 1:1、3、8

また、ローマに属国になったとき「あなたは生ける神の御子キリストです」オリブ山で契約をくださいました。これについて行ってください。Remnant は今からこれについて行けば必ず見えます。学業をしても、何をしても、ただがびったり見えます。ご存知でしょう。揺れずに契約をびったり正確に握ってついて行きなさい。それを今、命令するのです。

2. ヨシ 3:7 「祈りの流れ」

二つ目です。ヨシヤ 3 章 7 節に何となっていますか。「モーセとともにいたように、あなたとともにいる」祈りの流れについて行きなさい。モーセに答えたのではないですか。そのように、ともにいる。

唯一性

すると、みなさんにぴったりきます。唯一性の答えが。Remnant は重要な祈りだけしはじめれば、必ずこの答えがきます。今日 1 部のときに話しました。のがしてはなりません。

巡礼者一祈り

みなさんに、いよいよ残りの者で終わるのではありません。残ってじっとしているのではなく、巡礼者の祈りが始まります。

超越、無限、空前絶後

このとき、重要なことが出てきます。为什么呢。3 超越の答え。みなさんの中に無限なことが入っています。その答え。いよいよ少しだけ祈れば空前絶後の三つの答えがきます。ご存知でしょう。

1) 一つの祈り

それゆえ、みなさんは今から一つだけ祈ってください。一つの祈りだけ今からしてくださいということです。24。一つの祈りは、为什么呢。ウィズ (WITH)、インマヌエル (IMMANUEL)、ワンネス (ONENESS)。神様を見上げる祈り。この祈りだけするのです。

この答えがきます。巡礼者の祈りを知らなければなりません。巡礼者の祈りというとき、複雑なことはありません。「神様が私とともにおられることを。主の霊が私に臨んでください。キリストの霊が私に臨んでください。そしてここに働いてください」これが 24 祈りです。これを巡礼者が継続するのです。してみてください。

牧師先生、何かある「ああ、私はなぜ決心しても三日坊主になるのでしょうか」決心する必要がありません。それは未信者がすることです。しないでください。「あ、私はなぜ計画たててもできないのでしょうか」心配でしょう、そんなことはしないでください。巡礼者の祈りを始めてください。残りの者の祈りを握って、巡礼者の祈りに進みなさい。これが Remnant です。大人たちと、みなさんなぜみなさんと呼ばれたのでしょうか。残りの者として。そうでしょう。みなさんは家を生かして、これから世界を生かす残りの者として。すると、その祈りをしなければなりません。すると、静かに残っていますか。巡礼者の祈り。一つだけ祈ってください。

2) 一つの幸せ

後には、この一つで幸せでなければなりません。

3) 一つの力

この一つで力を持たなくてはなりません。Remnant 必ず悟らなければなりません。これがまことの力です。Remnant は今から質問する必要がありません。一日中、みなさんが、これからはこのすべての見えることが祈りです。すべての思い出すことが祈りです。してみてください。すべて聞こえることが祈りです。してみましよう。すべての話をするのが祈りです。その中で自分の思いどおりにできるのは、一つしかありません。何でしょうか。みなさん考えは思いどおりにできません。心も思いどおりにできません。脳を思いどおりにできません。あるときは、ことばも思いどおりにできません。思いどおりにできるのは、一つしかありません。息をすること。そうでしょう。

それゆえ、息をすることも祈りです。祈って一日中してみてください。吸い込むときは、聖霊の満たし。息を吐き出すときは、呼吸を出すときは、神様の働き。この祈りを巡礼者が継続するのです。それを、継続してみてください。頭もものすごく良くなって、力がものすごく生まれます。

Remnant は勉強の心配をしないでください。みなさん今考えること、すべてみな救われていない人がすることなのに、救われていない者ならば、そのようにしなければなりません。今日も Remnant と面談しましたが、私に会ってこのような質問をしました。「私が何をどのように計画を、どのようにすべきか……」「計画たてないで」

神様の聖霊があなたとともにおられることが間違いないならば、そのようにする必要はありません。神様の聖霊が実

際に働くことがにせ物ならば、今するのがそのとおりです。未信者がすることが正しいでしょう。そうでしょう。この体験を(本論)すべきです。

今年の仕上げと来年に重要なメッセージが出てくるでしょう。ほとんど祈りをでたらめにしています。これが祈りです。一つだけしてください。神様が私とともにおられる、それならば終わりです。そうでしょう。すると、勉強すること、すべての考えること、すべての行くこと、見ること、みなみな祈りにつながります。

すると、みなさんがこのように呼吸を長く、このようにするとき、それで頭も良くなって、健康にもなります。それをずっと、どの程度するのでしょうか。病気も治ります。元気になるから、力が生まれます。さらに重要なのは、問題に会ったが大丈夫。問題がきます。ずっと問題があるから。危険がきても大丈夫。みなさんは残りの者で、巡礼者。

3. ヨシ 3:17 「現場の流れ」

三つ目のことが出てきました。3章 17 節です。「水が止まって、民がみな渡る時まで、祭司の足はそこ止まっていなさい。」このように言われました。そうでしょう。为什么呢。

再創造

征服者の祈り

神様のみことばが実際の現場に成就する征服者の祈りです。何でしょうか。神様のみことばが現場の流れに乗るように。これを再創造と言います。征服者の祈り、残りの者の祈りで、巡礼者の祈りで、それから征服者の祈りで。

暗やみ縛る

このとき、どんな答えがきますか。このとき、再創造の答えがくるのですが、このとき、どんなことが起きるのでしょうか。完全に暗やみがひざまずくことになっています。そうでしょう。私たちが征服しようとするのは、人を捕まえて征服するというではありません。暗やみを縛ってしまうのです。必ず記憶しなければならないことです。

1) 契約の箱

2) 祭司の足

「契約の箱をかつぐ祭司の足が」そう言われたでしょう。

3) すべての民

「すべての民が渡っていく時まで」このとき、何が出てきますか。みなさんにはこのような暗やみが崩れる、偉大なる御働きが起き始めます。

口結論

出 17:14

結論を結びます。すると、ヨシュアに対して少し勉強をすべきでしょう。出エジプト記 17 章 14 節です。後ほど一度探してみてください。このように記録されています。「このことを記録として、書き物に書きしるし、ヨシュアに読んで聞かせよ。」何の話なのか分かりますか。みな覚えなければならないということではなく、その重要性を分かりますか。

出 33:11

出エジプト記 33 章 11 節。ここは何の話が出るかという「モーセが宿営に帰ると、彼の従者でヌンの子ヨシュアという若者が幕屋を離れないでいた。」みなさんが参考にしなければならない内容です。答えを受ける奥義です。

民 14:30

民数記 14 章 30 節です。ヨシュアとカレブと一緒に話しました。「ただエフネの子カレブと、ヌンの子ヨシュアのほかは、あなたがたを住まわせるとわたしが誓った地に、だれも決して入ることはできない」みなさんが参考にすべき必要があります。

1. 時代作品

今からみなさんはメッセージよく参考にして 12 時代の作品を準備しなさい。

2. 7 大旅程作品

7 大旅程の作品を準備しなさい。出てくるでしょう。

3. OURS

三つ目のことが重要です。ただ、唯一性、再創造が出てきました。ただ、唯一性、再創造のシステムを作りなさい。すると終わりです。

Remnant は質問をたくさんしますが、みなさんは、これから少し考えながらすべきです。みなさんは Remnant です。世界で最高の祝福を受ける人。「私はどのようにすればよいのでしょうか」それは未信者がする質問だということです。この祈り(本論 1~3)の中にいなさい。そうすれば良いです、そうでしょう。

「私はこれからの話ですが、このような困難あるとき、どのようにしなければなりませんか」この中に(本論 1~3)い

なさい。それも 24。24 ということは、直ちに二十四時間できなくともかまいません。そのような心で 24。いつも心配する人がいるでしょう。それを何と言うのでしょうか。心配 24。そうでありませんか。いつも揺れる人がいます。揺れる 24。そうでしょう。100 パーセント 24 時間揺れるのではないのですが、24。

Remnant は残りの者の祈り、巡礼者の祈り、征服者の祈り 24。終わりです。答えがくるのか、これからを見てください。来るようになっていきます。神経を使わないでも来ます。なぜでしょうか。その中にいるので。その外にいる人は神経を使っても、できることはありません。そうでしょう。アメリカへ行くには、どうしなければなりませんか。アメリカへ行く飛行機の中に座っていればよいでしょう。走って行ってみる。不可能です。ですから、韓国から蠅一匹が飛行機の中に入ったのですが、それがアメリカまで行って、飛んで出て行きました。羽があるから行くことではありません。

ですから、どうかちょっと私たちの Remnant、私たちの信徒は、度々救われていない人々の考えと行動をしてはいけません。度々救われなかった人々がいるでしょう、その考えをするのです。救われていない人、みなさんの中に、「いくら考えても私は地獄に行くようだ」このような確信があるなら、教会に来る必要はないでしょう。そうじゃないですか。何をしようと契約を握りますか。地獄に行くのに。そうではないから。みなさんは世界征服しなければならないのです。なぜでしょう。神様がするようにしておかれたから。

幸せに、この中に(本論 1~3)いるのです。Remnant に明らかな時刻表が来るでしょう。そのために、その話をしなさいと私は召されました。単なることではなく、神様はみなさんにメッセージを与えろと、みなさんにその話をしなさいと立てられたのです。祈ります。

祈り

すべての問題の解決者であるイエス・キリストの恵みと神様の大きな愛と、聖霊の働きが、全世界の Remnant の上に今からとこしえまでいつもともにありますように。アーメン